

エルサルバドル政治経済月報

(2017年10月分)

2017年11月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護、日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し、風通しの良い職場環境の維持。

内政

1. 2019年大統領選挙

(1) 13日、当地選挙管理最高委員会(TSE)は、以下の日程を発表。

<2018年> 10月 5日 2019年大統領選挙公示

<2019年> 2月 3日(日) 大統領選挙第1回投票

3月10日(日) 大統領選挙決選投票(予定)

(2) 国民共和同盟(ARENA)は、2018年4月22日の内部選挙で同党の大統領候補者を選出する旨発表しているが、既に立候補の意志を表明しているカルロス・カジェハ・カジェハグループ副会長やハビエル・シマン前全国製造業協会(ASI)会長は既に全国的な遊説活動を展開中。一方、ファラブンド・マルティ民族解放戦線(FMLN)は候補者につき協議中。(11月1日にMOP大臣ヘルソン・マルティネス氏が立候補のため辞任した。オルティス副大統領も党内立候補を検討中の旨発言。)

2. 2018年国会議員・全国市長等選挙

(1) 詳細は[こちら](#)(当館ホームページ掲載記事)。

(2) サンサルバドル市長候補には、ジャクリン・リベラ国会議員(FMLN)及びエルネスト・メイスン国会議員(ARENA)の擁立が各党から発表されている。

3. ブケレ・サンサルバドル市長を巡る動き

(1) 詳細は[こちら](#)(当館ホームページ掲載記事)。

(2) 25日、ブケレ市長は自らのフェイスブックページにて、FMLNやARENAによる二大政党制や政党主義の打破を目的とした、新たな政治運動"Nuevas ideas"を立ち上げた旨発表。

4. その他

9日、カルデロン・ソル元大統領（1994-99年、ARENA）が肺がんのため米・ヒューストン市内の病院で逝去。享年69歳。1992年のエルサルバドル和平合意後初めての選挙で選出された大統領であり、日本との関係では1997年に日本政府による招へいで来日。天皇陛下よりお悔やみの御手紙が出状された。

外交

1. 中米関係

20日、サンチェス・セレン大統領は、ホンジュラスのエル・アマテージョにおいてエルナンデス・ホンジュラス大統領及びモラレス・グアテマラ大統領と会談し、ホンジュラス及びグアテマラによる税関統一プロセスへのエルサルバドルの正式参加及び中米北部3か国による国境警備等につき協議した。

2. 対米関係

27日、マルティネス外相は、ロサンゼルス市・南カリフォルニア大学にて開催されたフォーラム「在米TPSエルサルバドル人の貢献」（エルサルバドル外務省主催）に出席し、在米エルサルバドル人が行ってきた経済、社会、労働及び文化面での米国における貢献を広報するとともに、米国関係当局に対しTPS延長に向けた働きかけを実施。

経済

1. 2017年度当国経済成長見通し

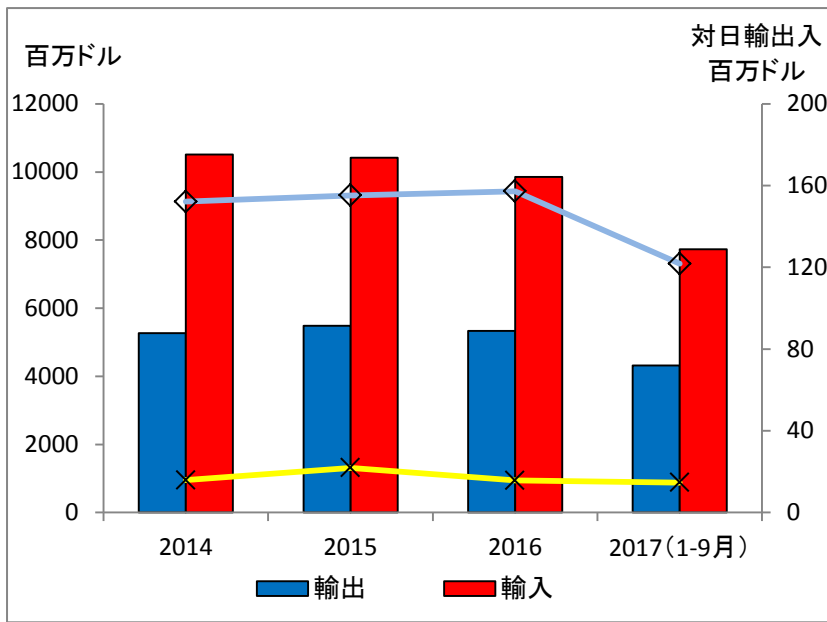
国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）は2017年の当国経済成長見通しを2.4%となる旨報告書にて公表。また、世銀及びIMFは2.3%となる旨公表。

2. 「行政手続簡易化法案」の廃案

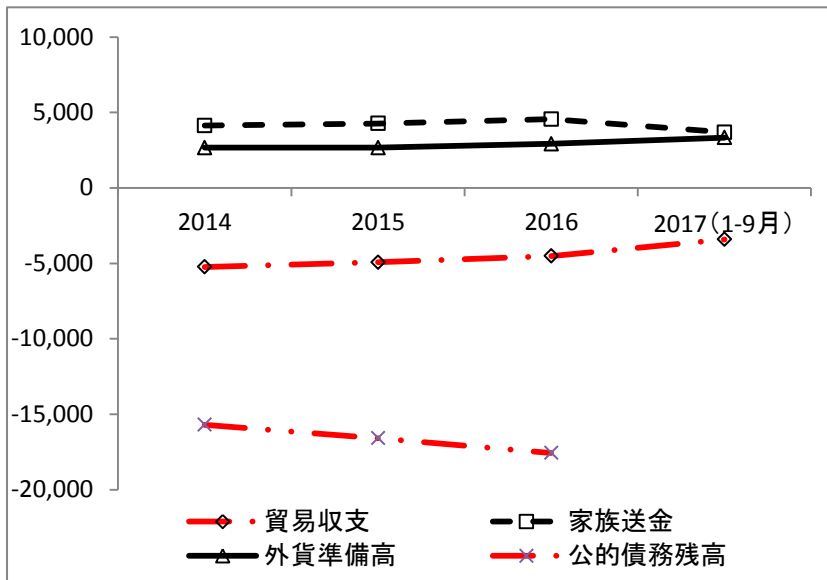
6日、サンチェス・セレン大統領は、9月26日に国会にて可決された「行政手続簡易化法案」を既に政府内に同様の組織があり、右組織と役割が重複するとの理由から大統領拒否権を行使し、右法案は廃案となった。右法案は、新規ビジネス開始にかかる行政手続を50%削減することを目的としていた。

3. 太陽光発電プロジェクト

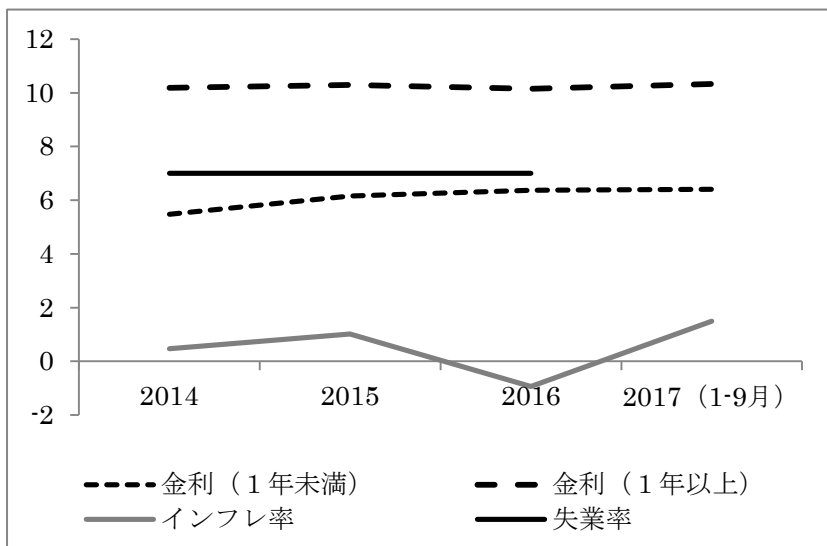
AES（エルサルバドル配電会社）及びCMI（Corporación Multi Inversiones）は、国内3か地域（西部、中部、東部）において太陽光発電事業の開始を発表。発電容量は西部30メガワット、中部30メガワット、東部30メガワットの計100メガワット。総投資額は1億6千万ドル、その内70%がオランダ開発銀行（FMO）米国海外民間投資公社（OPIC）、中米経済統合銀行（BCIE）、フィンランド産業協力基金（FINNFUND）による融資。プラント建設はスペイン Isotron 社が実施、ソーラーパネルは中国 Jinko 社製のものを使用予定。



- ・ 昨年は原油価格の低下が石油由来製品の輸入価格にポジティブな影響を与え、貿易収支の赤字額が減少。
- ・ 一方、原油価格の高騰により9月までの輸入価格は前年と比較し上昇。
- ・ 衣類、砂糖、コーヒートウモロコシ等の農産品輸出が増加し、本年9月までの輸入額は昨年同期と比較し増加傾向。



- ・ 輸出は増加している一方、原油価格の高騰による輸入価格の増加が貿易収支の赤字を増加。この傾向が続けば、本年の貿易収支の赤字は前年と比較し増加する見込み。
- ・ 家族送金額は例年に続き増加傾向。
- ・ 昨年の公的債務残高は対 GDP 比約 62%と近年連続して増加。年金関連債務の増加や短期借款の発行増加が要因。



- ・ インフレ率が昨年と比較し増加。電気、水道、プロパンガス、その他燃料や食料品の分野においてインフレ率増加が顕著。

出所：中央銀行，経済省統計局より作成

治安

【主要事件・報道】

1. 9月の殺人発生件数は435件となった。その内、警察官5名と軍人5名が含まれている。9月中旬以降に殺人件数が急激に伸びており、政府が首都サンサルバドルに軍隊の装甲車や防弾車を配置し、警備強化を行ったことに対する犯罪組織側の反発との見方がある。
2. 本年1月から9月29日までの間で、当国に強制送還された犯罪者数が814名となり、昨年比、36ポイント上昇。今後も強制送還される犯罪者が増加するものと見られており、治安の悪化が懸念されている。
3. 10月18日、チャラテナンゴ県において軍人1名と退職した警官1名がマラスによって射殺された。
4. 10月23日、サンミゲル県エル・トランシト市モロパラ村のADESCO会長が殺害された。

【国家文民警察の措置】

10月12日、9月下旬から10月上旬にかけて200名以上の殺害を指示した疑いがもたれているMS13の5名の指導者が逮捕された。

▶ 背景

MS13から分派したMS503に対し報復措置を指示した模様。

▶ 結果

ボスの不在地域における派閥・勢力争いの激化による治安悪化が懸念されている。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 10月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は1件（サンサルバドル市エスカロン地区（当館より約300m）にて、洗車業者が路上で洗車中、何者かに殺害される）。
2. チャラテナンゴ県における殺人発生件数は、先月の7件に対し、10月は17件に急増。警察官の家族の殺害件数の増加という全国的な傾向を反映しているものとみられる。
3. 10月17日、アウアチャパン県にあるサンタ・テレサ温泉のオーナーが殺害された。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1:十分注意区域

レベル2:不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
主要 11 犯罪（1 月－9 月）過去 2 年との同時期の比較

